

東京キャンパスで学ぶ大学院学生の皆様へ

筑波大学副学長(東京キャンパス将来構想担当) 鈴木久敏

大塚地区の校舎改築整備計画に係る 大学院の仮校舎の候補予定地について

筑波大学では、東京キャンパスにおける教育研究機能の一層の発展を目指して、大塚地区校舎(E館・G館)の施設設備を一新する校舎改築整備を計画しています。

先の説明会でご案内しましたとおり、改築工事にあたっては現校舎を取り壊す予定であることから、改築期間中、大塚地区の組織は別地の仮校舎に一時移転する必要があります。

仮校舎の場所については、学生の皆様の勉学に支障をきたさないように、通学等に便宜のよい場所を探索中ですが、現時点における候補地として下記のとおり予定している旨、お知らせします。

記

- ・ 大学院の仮校舎の候補予定地：千代田区神田神保町
- ・ 移転予定期間：平成22年2月中旬～平成23年3月

注) 今後、候補地・スケジュールに変更が生じた場合には、速やかにお知らせします。

筑波大学東京キャンパスに受験予定の皆様へ

筑波大学副学長(東京キャンパス将来構想担当) 鈴木久敏

筑波大学東京キャンパス（大塚地区）の 校舎改築整備計画について（お知らせ）

筑波大学では、東京キャンパスにおける教育研究機能の一層の発展を目指して、大塚地区の建物の改築プランを持っています。今後所定の手続きを経て、現在の建物を取り壊し、周辺環境や景観に配慮した新しい校舎を建設する予定です。

計画では、2010年4月に入学される学生は、最初の1年間は仮校舎での勉学、2年目以降が新しい校舎での勉学となります。

仮校舎の場所については、学生の皆様の勉学に支障をきたさないように、通学等に便宜のよい場所を探索中であり、現在、大学院については、千代田区神田神保町を候補地として予定しております。

なお、本スケジュールは今後変更される可能性があります。その際は直ちに御連絡を差し上げることとしております。